

《蜃気楼》

图书基本信息

书名：《蜃気楼》

13位ISBN编号：9784062080873

10位ISBN编号：4062080877

出版时间：1996-6-10

出版社：講談社

作者：内田康夫

页数：305

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《蜃気楼》

内容概要

蜃気楼にも似た人間の業に浅見光彦は！？

現役最長老「越中富山の売薬さん」を訪ねる途中、魚津埋没林博物館で幸運にも蜃気楼に出会った浅見光彦。そこへ案内してくれた館員梶川優子の祖父急死の報が入ったが、その尋助こそ取材すべき人物であった。尋助の足取りを追う浅見の前に虚飾に満ちた世界が露わにされてゆく。話題の文芸ミステリー第4弾！！

《蜃気楼》

精彩短评

1、終於看完了！恨自己同時看太多書！如果這本看的是中文版估計我就給三星了，但是日版很多句子直刺人心啊！雖然很平淡溫吞，但結局讓人發省！讀日版的好處，可以腦部羽毛的聲音實在太贊了！果然最喜歡淺見光彥了！！

1、《蜃気楼》的笔记-第143页

ただし、世襲となると話は違うかもしれない。世の中は「血筋」に対して、信仰に近いイメージを抱いている。とくに日本ではその傾向が強い。皇室は象徴的だが、歌舞伎などの古典芸能の世界はほとんどが世襲だ。どんな大根役者でも、御曹司と名がつけば一枚看板で、世間もそれを認めで疑わない。親から受けた「血」には、才能も丸ごと入っていると信じているらしい。ファッションに関しても同じ寛容で好意的な見方をするにちがいない。

そうはいつでも、世間を納得させるには、それなりの基礎的なものは必要だ。歌舞伎の場合には伝承の型をマスターすれば、おおむねそれでよしとしたものだが、ファッションデザインはそうはいかない。ファッションは日々変化する。同じ型は許されない。同一ブランドとして、イメージに継続性や一定お傾向があるのはいいとしても、そこにたえず新しい独自性が要求される。

《蜃气楼》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu000.com